

GCOE 国際会議出席報告書 (外国旅費用)

拠点リーダー 川合 光 殿

(ふりがな) 氏 名	くりもと よしのり	所属・職名	指導教員名 (院生の場合)
	栗本 佳典	大学院生	中家剛
Tel,Fax e-mail	3859 kurimoto@scphys.kyoto-u.ac.jp		
発表題名	SciBooNE's neutral current single pion production measurements I		
著者名	Yoshinori Kurimoto		
会議名称 ・開催期間	自 2009 年 5 月 17 日 ~ 至 2009 年 5 月 22 日		
開催地 (国、市)	Sitges Barcelona Spain		
出張期間	自 2009 年 5 月 17 日 ~ 至 2009 年 5 月 24 日		
国別参加者数	USA 34 Spain 12 Italy 9 等 合計 102 名		
<p>発表内容、聴衆の反応、質疑応答、その他について簡潔に記述してください。 (口頭発表・ポスター発表の別も文中に明記すること。)</p> <p>私は Nuint2009 で SciBooNE 実験における、ニュートリノ中性カレントπ^0 生成反応の測定結果について口頭発表を行った。内容は、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. SciBooNE 実験の紹介 2. なぜニュートリノ中性カレントπ^0 生成反応を測定するか。 3. 事象選択法 4. π^0 運動学再構成 5. 荷電カレントとの断面積比 6. まとめ <p>という内訳であった。</p> <p>全感知型シンチレーター検出器における初めてのπ^0 測定という事で聴衆も聞き入っていた。質問は荷電カレントバックグラウンド除去についての提案や、シグナルの定義に関する事で、(自分の解析なので当たり前だが)きちんと応答することができた。また発表終了後も個人的に事象選択法や selection efficiency などの質問をうけ、を議論する事ができ大変有意義に過ごすことができた。</p>			